

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・中国からの輸入品は円安元高に伴い仕入値が上がっているが、それでも商品は売れるため、販売価格に転嫁できて売上も増えている。同業他社でも調子は良さそうである。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・旅行客数の伸び率はやや鈍化しているが、水準としては良い状況が続いている。天候にも恵まれ、土産物の販売量、客単価共に伸びている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今月の販売は好調であり、売上は例年の4～6月期より多い。来客数も多いほうである。
やや良く なっている		一般小売店〔薬局〕（経営者）	販売量の動き	・最近平日の人通りが良く、売上も増えている。良い品物をお値打ち価格で売れば、買ってくれる人は増加している。生鮮食料品スーパーも、非常に混み合っている。
		一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・中元商戦を迎えているが、早期受注の手ごたえが良い。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・婦人服、紳士服、子供服、時計、宝石等の高額品の売行きは軟調であるが、名古屋駅前地区は集客効果があり、全体の売上は前年を上回っている。
		百貨店（販売担当）	お客様の様子	・雑誌掲載品の問い合わせや、取り寄せ依頼が多い。夏物商材の動きも良くなっている。
		百貨店（販売担当）	販売量の動き	・プライダル商品の売上が順調である。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・客単価が前年同月比で1.8%上昇しており、来客数も同じく1.7%増加している。
		衣料品専門店（企画担当）	販売量の動き	・4、5月と連続して、売上は前年を上回っている。単価も徐々に上がってきている。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・土日に開催する商談会への来客数が増加している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・直近3か月の動きの中では、来客数の増加が顕著である。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・企業の設備投資関連が引き続き多く、アミューズメント関係の店舗需要もおう盛である。住宅関係は、賃貸マンションを始め分譲マンション、持家住宅も順調に着工されている。
		その他小売〔水産物卸売〕（経理担当）	販売量の動き	・少しずつではあるが、販売量は増加している。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・気候も安定しており、販売量は伸びてきている。ただし、客単価は低下傾向にある。また、原材料価格は上昇傾向である。
		都市型ホテル（支配人）	販売量の動き	・宿泊稼働率は低下していない。また、単価が少し強気でも販売できる。宴会は忘年会の問い合わせがあるなど、前年より問い合わせが早い。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・今までは、飛行機を利用する遠方の慰安旅行は、周囲の目を気にして取り止めになっていたが、最近は金額に見合った旅行なら、海外を含めて慰安旅行を再開する会社が増えている。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・一時は皆無に近かった職場旅行が、今年はほぼ復活しており、業種によっては豪華な旅行を行っている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・客単価は少し良くないものの、来客数はやや良い状態が続いている。
美顔美容室（経営者）	お客様の様子	・ゴールデンウィークでレジャーに出掛けることが多く、来客数は減少しているが、4～7月末まで新客キャンペーンを行っているため、新規客は増加している。		
変わらない		商店街（代表者）	お客様の様子	・ゴールデンウィークの売上が伸びず、その後も前年の売上を上回ることが出来なかった。しかし、客の購買意欲は見られるようになってきている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・母の日のギフトは、単価が10%ほど低下している。来客数の割には、売上は伸びていない。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	お客様の様子	・どの飲食店でも、週末だけが忙しいという傾向が続いており、酒類の売上は横ばいである。

一般小売店〔酒類〕(経営者)	来客数の動き	・街の人通りは多いが、購買客は増えていない。
一般小売店〔時計〕(経営者)	来客数の動き	・客単価が相変わらず低い。
百貨店(企画担当)	販売量の動き	・主力の婦人服や紳士服は堅調であり、水着や浴衣の夏物商材の立ち上がりも好調に推移している。一方で、特選ブランド品や輸入時計など高額品の売上は、ユーロ高による値上げの影響もあり不調である。
百貨店(企画担当)	販売量の動き	・販売量は不調ではないが、好調な状況が長続きしない。基調として、強さが感じられない。
百貨店(婦人服販売担当)	単価の動き	・毎月の売上の7割以上を占める高額所得者の客単価、商品単価及び高額商品の売行きは、ほとんど変わっていないが、むしろ良くなっている場合もある。しかし、残る3割のフリー客の客単価等は、少しずつ悪くなっている。
スーパー(経営者)	お客様の様子	・客の所得は伸びていないため、客は単価の低い商品を上手に購入している。当社では経費の削減を続けて、利益を出しているのが現状である。
スーパー(店長)	単価の動き	・客単価は、相変わらず横ばいである。主力商品の横に関連商品を陳列するなど、客単価を向上させる努力をしているが、単価の上昇といった成果にはつながらない。
スーパー(店長)	お客様の様子	・話題性のある商品は売れるが、それ以外は非常に厳しい。
スーパー(営業担当)	販売量の動き	・販売点数に変化はないが、競争は激しくなってきた。
コンビニ(企画担当)	単価の動き	・競争激化に伴い来客数は減少しているが、客単価は横ばいである。
衣料品専門店(経営者)	単価の動き	・来客数がもう少し増えてくれれば客単価も多少は上がるが、来客数が依然として少ない。
衣料品専門店(売場担当)	販売量の動き	・売上は前年をほんの少し上回っているが、すぐにも減少しそうなほど不安定である。
乗用車販売店(従業員)	来客数の動き	・5月に入ってから、来客数が非常に少ない。冷やかしか客もほとんどない状況が続いている。ただし、客からの注文は安定しているため、全体で見ると変化はない。
一般レストラン(経営者)	お客様の様子	・ゴールデンウィーク中の営業はますますであったが、それを過ぎてから後半までは、来客数が減少している。
一般レストラン(スタッフ)	来客数の動き	・ゴールデンウィークの来客数の伸びが今一つである。
一般レストラン(従業員)	来客数の動き	・来客数は、相変わらず低い水準で安定している。
旅行代理店(経営者)	単価の動き	・依然として、低単価傾向が続いている。
旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・今月初旬は来客数が多く、順調に伸びるかと思われたが、中旬から後半にかけては例年と同じ来客数となっている。
タクシー運転手	来客数の動き	・3、4か月前は、昨年、一昨年とは動きが変わり、良くなっていたが、今月に入るとまた悪いときと同じような状況になっている。繁華街でも、飲みに出てきている人の数は少ない。
タクシー運転手	お客様の様子	・最近、夜の飲み屋街では、週初めの客が少なくなっている。ただし今月は、ゴールデンウィークと、土日の結婚式、パーティなどがあり、落ち込みは少なくなっている。
通信会社(企画担当)	販売量の動き	・5月になっても、新規契約の伸び悩みや解約数の増加など、厳しい状況が続いている。
通信会社(開発担当)	それ以外	・今年度の年度計画に沿った業務推進が、軌道に乗ってきている。
ゴルフ場(企画担当)	来客数の動き	・天候に恵まれたため、来場者数は目標比、前年比を大きく上回っている。ただし、連休中の来場者数は、前年を下回っている。
設計事務所(職員)	お客様の様子	・今まで良客だった開業医が、営繕や建て替え、改修などを気軽にしなくなっている。

	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・新築住宅への要望は横ばいである。客は増改築には興味があるが、相次ぐ不祥事等の報道に伴い、一部施工店への不信感がある。
	住宅販売会社 (企画担当)	単価の動き	・最近各メーカーから部材の値上げの要請が多数来ており、建築資材の価格が上昇している。
やや悪く なっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・母の日などの特別な日の来客数は増え、販売量も増加するが、それ以外の来客数が減少している。そのため、販売量は増加していない。
	商店街(代表者)	販売量の動き	・春先の元気さは、少しずつなくなってきた。会社全体の販売量は減ってきており、商店街の売店だけで見ても、平日の売上が確実に減ってきている。ゴールデンウィーク明けは、客単価も若干低下してきている。ただし、法人の注文は増加している。
	百貨店(売場主任)	販売量の動き	・名古屋駅前地区の人通りは落ち着いてきている。ゴールデンウィークの来客数も少なく、売上は今一歩のところで停滞している。
	百貨店(売場主任)	来客数の動き	・特に平日の来客数が少ない。ヤングのフロアは、夕方でも客がまばらである。
	百貨店(外商担当)	来客数の動き	・ゴールデンウィークを含めて、周辺の新規商業施設に客が流れており、来客数、売上共に減少している。
	スーパー(店員)	販売量の動き	・土日の売上が悪くなっている。
	スーパー(販売担当)	来客数の動き	・来客数が減少している。
	スーパー(仕入担当)	来客数の動き	・安売りスーパーが新規出店しており、チラシ等を見て客はそちらに流れている。
	コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・5月は天候が良いため通常なら販売量は伸びるが、主力の弁当やおにぎりが前年比で悪くなっている。
	コンビニ(店長)	販売量の動き	・5月は暖かかったり涼しかったりで、飲料、アイスクリームの売上が前年を大きく下回っている。
	乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・先月から販売が低迷している。また来客数も減少している。
	乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・店頭イベントを実施したが、思った成果を得られていない。販売実績は、前年比90%となっている。販売構成の大きな割合を占めるRV車が7月のモデルチェンジを控えているものの、店頭の活気は感じられない。
	乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・客の台替え需要は軽自動車へ集中しており、小型乗用車の販売台数が大幅に減少している。大型車の販売も頭打ちのため、全体的に市場が縮小している。
	その他専門店 [貴金属](店長)	お客様の様子	・プライダルフ品、記念品などで、高額商品の売上が伸び悩んでいる。
	その他専門店 [雑貨](店員)	来客数の動き	・来客数は最悪の状況からは脱したものの、やっと下げ止まった程度である。
	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・ディナー客が、平日、休日共に減少している。平日の法人需要、休日の個人需要共に、厳しい状況にある。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・最近では年配客が減少している。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・ゴールデンウィークが終わってから、週末の来客数が急に減少している。ガソリン価格が値上げされ、郊外店舗は不利になっている。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・今年のゴールデンウィークは大型連休の企業が多く、レジャーに人が流れ、繁華街はとても静かで売上は伸びていない。
	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・ここ3か月間の宿泊客数の前年同期比は、90%、78%、70%とやや悪くなっている。
観光型ホテル (販売担当)	来客数の動き	・2~3か月前、特に3月は予想を超えた来客数があったが、4月は選挙の影響があり、続いて5月の来客数も1割以上の減少である。個人客と大型の固定客はあるものの、小グループの利用がめっきり減っている。	
都市型ホテル (経営者)	単価の動き	・利用料金、特に宿泊価格の問い合わせが必ずあり、その際に割引の仕組みがないか尋ねる客が多くなっている。	

		タクシー運転手	販売量の動き	・金曜、土曜の夜のタクシー利用客は多いが、それ以外の日は極端に少ない。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・高速道路ができて通過する客が増えたため、来場者数は減少している。
		パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きがやや悪くなっている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・3、4月の来客数が多かったため、今月の客の動きは悪くなっている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・前年度比、前月比共に、来客数は減少している。
		理容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず客の回転が悪い。また、安い理容店に客はかなり流れている。
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク中は忙しくなると予想していたが、結局客はほとんど来なかった。
		住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・売行きが悪いため、値引き販売をしている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・ゴールデンウィークが終わったが、例年のような盛り上がりがない。販売状況も下降気味である。
		住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・入居仲介の問い合わせ件数は従来どおりあり、企業の動きも活発化しているが、個人所得の伸びがないのが高級賃貸マンションの入居仲介に苦戦している。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔工務店〕（経営者）	単価の動き	・木材価格が約3割上昇している。
	悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・量販店の出店が続き、既存店では廃業に追い込まれている。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・中小小売店の売上動向は悪く、売上は10%減少している。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・ガソリンやトイレットペーパーなどが値上がりしており、客の購買意欲は減退している。
企業動向関連	良くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	それ以外	・3か月前と比較して5.5%の増収、343%の増益となっている。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注量や販売量の動き	・日本版SOX法に対応する案件で、追加要員の要求が複数社から届いている。
	やや良くなっている	一般機械器具製造業（販売担当）	受注量や販売量の動き	・在庫機が売れず、引き合いもない状態が続いていたが、ようやく在庫機の販売先が決定したり、有望な引き合いが入るようになってきている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・建設関係の製品受注量は、1割程度増加しており、大きく操業度を確保できている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・客の設備投資意欲は、総じて上向きである。
		輸送用機械器具製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・主要取引先からの受注は、徐々に増加している。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・受注量や貨物の動きがやや良くなっている。
		不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・不動産売買価格などが、主要地域で若干値上がりしている。物件の流通量が増加している。
		行政書士	受注量や販売量の動き	・企業の出荷量は増加している。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量は前年同月比100～101%とほぼ同じである。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・受注量に変動はない。ただし、素材価格は非常に値上がりしているが、やむを得ず価格転嫁せずに注文を受けている。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・資材価格が高騰し、原価が上昇している。その結果、利益が圧縮されている。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、売上は堅調に推移している。商業は軟調であるが、製造業が補っており、全体では変わらない。
輸送業（エリア担当）		受注量や販売量の動き	・輸入貨物取扱量は前年より増加しているが、輸出の貨物取扱量は減っている。全体では、前年とほぼ同じになっている。	

		公認会計士	それ以外	・顧問先の中小企業の収益性は依然として低く、従業員の給与も増えていない。
		会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・顧問先企業では、大きな設備投資の動きがない。売上も特に伸びてはいない。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月中旬までは多忙であったが、中旬以降は暇になっている。ライバル社でも同様であり、設備関連は停滞している。
やや悪くなっている		紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主な取引先が在庫調整を行っているため、受注量は減少している。
		窯業・土石製品製造業（社員）	受注価格や販売価格の動き	・原料価格が2年前と比較して3割ほど上がっているのに対して、製品価格は全く上げられず、逆にコストダウンの提案を要求されている。利益率は低下している。
		金属製品製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・仕入先、同業他社を含めて、どこも忙しくない。仕事量に対する不安がある上に、ステンレスなど原材料価格の高騰が狂乱的であり、利益確保の見通しも立たない。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・自動車部品メーカーでは、低調な国内販売を輸出でカバーしている状況にあり、為替次第の状況が続いており不安定である。
		輸送業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・運輸業界は、燃料の軽油、ガソリンの値上がりで厳しい経営環境のなか、荷主に運賃値上げを要請しているが、同業他社との競合もあり運賃はむしろ下落している。
		金融業（決算予算担当）	取引先の様子	・競争激化で売上が減少するなか、法規制により取引先の資金繰りは急激に悪化している。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・中小法人の決算状況を見ると、医療法人、建設関係、鉄工関係を始め、成績は全体的にあまり良くない。特に医療関係では、医師、看護師、介護士等の不足が目立ち、収入が落ち込む状況が発生している。建設関係も、年度末施工工事が少ない。
悪くなっている		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・大手メーカーの集中購買が進み、建築物件も大手ゼネコンからメーカーへの発注という形態が多くなり、中小零細企業への外注は大幅に減少している。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今年度に入って、受注量は前期比で減少している。連日低調な推移をしている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売先のパチンコ業界の不況が相変わらず続いている。また新製品の開発も遅れている。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・相変わらず、求人数は多いが求職者数が追い付いていない。
	変わらない	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・顧客からの技術者需要は相変わらずおう盛であるが、未経験者や経験年数の浅い者でも可という需要は少なくなり、ある程度の経験を要する即戦力希望が多くなっている。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・大手企業の業績は好調のようであるが、中小企業では依然として厳しく、雇用が活発なのも一部の企業に限られる。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・正社員採用を希望する職業紹介案件が、着実に増加している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣需要の増加傾向はやや緩やかになっているが、新規の依頼に対して人材を確保できないケースが増えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・4月の新規求人数は前年同月比でやや増加しているものの、求職者数も増加傾向にある。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・求人数は減少しており、求職者数は増加している。しかし、就職者数は増えている。
		職業安定所（管理担当）	求人数の動き	・求人関係指標は高水準を維持し、求職関係の指標も落ち着いた動きを示すなど堅調に推移している。しかし、ミスマッチから依然として厳しい状況が続いている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・企業の求人意欲は、ほぼ同水準で推移している。

やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集担当）	求人数の動き	・派遣を中心に求人数は伸びているが、正社員、アルバイト、パートの伸び率は鈍化している。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・求人数が大きく減少し、それに伴い有効求人倍率は大きく低下している。ただし、大手企業の大口求人に大きく左右されている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は、一般機械器具製造業で活発であるが、請負、派遣求人の落ち込みが影響しており、全体では16%の減少となっている。
悪くなっている	-	-	-